別紙２　諸室の要求水準

(1) 主な諸室・スペースの考え方

本紙、「要求水準書」、「別紙３　ホールの要求水準」、「別紙４　諸室に設置する備品等リスト」、「別紙５　情報システムに関する要求水準」及び「別紙６　移転予定の既存備品リスト」を併せて確認し、諸室・スペースを計画すること。

なお、「要求水準書」は施設全体に共通して必要となる事項を、本紙は諸室・スペースについて特に必要となる事項を示す。本紙と「要求水準書」の要求水準を併せて満たすこと。

また、⑷諸室の要求水準に示す条件に基づき、類似する諸室・スペースの集約、多用途化又は共用部の有効活用等により、面積の合理化・効率化を図る提案を可とする。

諸室・スペースの要求水準において「◇」を付した事項は、その実施の有無、仕様、配置等を事業者の提案に委ねるものとする。

(2) 「○席程度」「○名程度」の取扱い

本紙において「○席程度」「○名程度」と記載する席数又は人数は、諸室・スペースにおいて想定する利用規模を示す目安であり、当該数値そのものの確保を一律の最低条件とするものではない。事業者は、諸室・スペースに求める機能・性能、設置目的、利用形態、想定利用人数、必要な家具・備品・設備、動線、安全性及び利便性等を確保することを前提として、席数又は収容人数を提案すること。

なお、当該数値を下回ることのみをもって要求水準を満たさないものとはしないが、数値を大きく下回る提案については、要求される機能・性能及び利用規模が確保されることについて、より具体的な根拠を示すこと。

(3) 要求水準の説明

⑷諸室の要求水準に用いる記号及び各欄の意味を以下に示す。

ア　「開」「閉」の定義

諸室・スペース名称欄の下部に記す 開 及び 閉 は、次のとおり定義する。

種類	定義
開	壁で仕切らない、共用部等に開かれた空間（様子が見える状態であれば、腰高の書架や家具等で緩やかに仕切れるようにすることも可）
閉	壁やガラス等で仕切られた、閉じた空間
開 閉	可動間仕切り等により、開いた空間と閉じた空間を切り替えて利用できる空間

イ　視覚的な条件の定義

諸室・スペース名称欄に示す 閉 「見える・見えない・隠せる」は、次のとおり定義する。

種類	定義
見える	閉じた際に、諸室・スペースの外から中の様子が見える
見えない	閉じた際に、諸室・スペースの外から中の様子が見えない
隠せる	閉じた際に、諸室・スペースの外から中の様子が見えるが、カーテン等を用いて隠すこともできる

ウ　集約可・非設置可の定義

種類	定義
集約可	類似する機能を持つ諸室・スペースを一体化し、１室・１スペースとすることを可とする。ただし、各項に定める機能及び利用条件を確保すること。
非設置可	各項に示す条件の範囲で、諸室・スペースの全部又は一部を設けない提案を可とする。最低室数や代替機能等を定める場合は、その条件を満たすこと。

エ　求められていること（背景・ニーズ）

市民ニーズ、市民共創の取組及び現施設の課題等を踏まえ、諸室・スペースの計画にあたって理解すべき背景やニーズを示す。個別の設計仕様を定めるものではない。

オ　基本的な考え方（過ごし方、役割）

「求められていること（背景・ニーズ）」を踏まえ、利用者の過ごし方や活動のあり方及び施設全体の中で担う役割を示す。具体的な設計仕様を定めるものではなく、計画にあたって踏まえるべき空間の方向性を示す。

カ　要求水準（建築、設備、什器・備品）

諸室・スペースの設計及び整備にあたって、建築、設備、什器・備品について特に必要となる事項を示す。

【建築】諸室・スペースの規模、配置、動線、仕上げ、音環境その他の建築上必要となる条件を示す。

・諸室・スペースについて示す床面積は、施設に求められる機能、利用形態、利用人数等を踏まえた計画上の参考値であり、当該面積の確保そのものを要求水準とするものではない。各項に示す機能・性能、利用人数、家具・備品、設備、動線、安全性、利便性等を確保するとともに、「要求水準書」第 2 に示す施設全体の延べ面積に関する条件を満たすことを前提として、参考面積から増減する提案を可とする。

・学習・閲覧のための席を、施設全体で 330 席以上確保すること。このうち、学習に利用できる席を 170 席以上確保すること。学習・閲覧のための席のうち、一部を事前予約により利用できる席（以下「予約席」という。）とすること。予約席の対象、席数、配置及び運用方法は事業者の提案によるものとし、予約なしで利用できる席を十分に確保すること。

・開架率及び児童書の割合は、それぞれ 50%以上及び 30%以上とすること。諸室・スペースに示す収容冊数は目安とし、これらの割合を確保できる配架・収容計画とすること。なお、蔵書数、開架率及び児童書の割合の算定方法は、「要求水準書」第 7 運営業務に関する要求水準によること。

【設備】「要求水準書」に示す内容のほか、諸室・スペースについて特に必要となる設備を示す。

管理運営上必要となる諸室・スペースや、「要求水準書」において本紙を参照するものとしている設備については、各項の記載を確認すること。

個別の設備の記載がない場合も、「要求水準書」及び用途に応じて必要となる設備を整備すること。

【什器・備品】諸室・スペースの利用形態及び役割に応じ、特に必要となる什器・備品の条件を示す。

具体的な品目、数量等は、「別紙 4　諸室に設置する備品等リスト」と併せて確認すること。

キ　空間イメージ（参考例）

市が示す参考事例は、デザイン、色彩、家具・什器等の具体的な意匠をそのまま踏襲することを求めるものではない。これらの事例を通じて、市が目指す「過ごしやすく、活動しやすい、魅力的な空間」のイメージや、その空間における人々の過ごし方・活動のあり方を把握することを意図している。これらの趣旨を理解した上で、施設の特性や利用者像、想定する活動、運営方針等を踏まえ、参考事例を単に模倣するのではなく、事業者ならではの創意工夫により、施設の魅力や価値を高める空間を提案すること。

(4) 諸室の要求水準

ア　みらいスペース　　「自由な居場所であるとともに、蒲郡の多様なヒト・モノ・コトが出会い、つながる」

(ア) ほっとくつろぐ場（ひとりだけの時間を大切にできる。ほっと一息ついたり、自由にくつろいだりできる場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
ラウンジ 開	－	・気軽に過ごせ、居心地がよく目的がなくても「何かありそう」「少し立ち寄ってみよう」と感じられる居場所が求められている。 ・読書、休憩、待ち合わせ、会話等、多様な過ごし方を受け止め、長時間でも心地よく滞在できる環境が求められている。	・特定の目的がなくても憩い、集える、立ち寄りやすい雰囲気の空間 ・読書、休憩、待ち合わせ、会話など、施設全体の利用にゆとりをもたせる。 ・さまざまな家具等により、利用者が思い思いの過ごし方を選択できる。	【建築】 ・参考面積　100 ㎡ ・30 席程度設けること。 ・配置は一箇所に集約又は分散して配置するものとし、雑誌コーナー・新聞コーナーとの連携に配慮すること。 ・イベント等の多様な利用にも対応できる可変性のある空間とすること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 【什器・備品】 ・空間との調和及び統一感に配慮しつつ、多様な過ごし方に対応できる椅子やソファを設けること。 ・公共施設での利用に適した家具を選定すること。 ◇開放的な空間の中でも、囲われた感覚で落ち着いて過ごせる家具を設けること。	 出典：札幌市図書・情報館  出典：西神中央ホール　ホームページ
雑誌コーナー 開	－	・短時間の利用から落ち着いた閲覧まで、多様な利用に対応できる環境が求められている。 ・日常の中で気軽に立ち寄り、雑誌や新聞等を通じて新たな情報や興味に触れられる場が求められている。	・施設内の行き来の中で気軽に立ち寄れ、短時間でも心地よく過ごせる開かれた空間 ・雑誌コーナーは、ラウンジ等と連携し、会話や交流も生まれる、ほどよくにぎわいのある場 ・新聞コーナーは、落ち着いて集中して閲覧できる。	【建築】 ・参考面積　50 ㎡ ・雑誌及び新聞の配架に対応すること。 ・専用席は 15 席程度設けること。 ・雑誌コーナーはにぎわいのある場、新聞コーナーは静かに過ごせる場となるよう、それぞれの閲覧特性を踏まえて配置すること。 【什器・備品】 ・利用者が適度な時間で席を譲り合いながら利用しやすい家具を選定・配置すること。 ・ラウンジ等との調和に配慮しつつ、雑誌・新聞それぞれの閲覧特性に適した家具を配置すること。	－
新聞コーナー 開	－				
和室 開 閉 （隠せる）	－	・現市民会館の茶室は利用が限定的であるため、休憩、交流、親子利用等にも柔軟に活用できる畳敷きの空間が求められている。 ・床に座るなど、一般的な椅子・机とは異なる過ごし方を選択できる場が求められている。	・現市民会館の茶室「三興庵」の役割を継承しつつ、より気軽に、多用途に畳敷きの空間を活用できるものとする。 ・文化活動に加え、休憩、交流、親子での利用等、多様なニーズに対応できる。	【建築】 ・参考面積　50 ㎡（水屋等を含む。） ・６畳程度の和室を２室設け、個別でも一体でも利用できるようにすること。 ・少なくとも１室は炉を切り、床の間を設けるなど、茶会での利用ができるようにすること。 ・押入れ等の収納を設けること。 ・靴を脱ぎ履きする場所と下足入れ（棚）を設けること。 【設備】 ・水屋に必要な給排水設備を設けること。 ・電気時計を設けること。	－

（イ）がやがやおしゃべりの場（だれかと待ち合わせたり、おしゃべりしたり、買い物したり。賑やかな声と雰囲気が広がる場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
カフェ・ショップ （開閉は、提案に委ねる）	－	・家族や友人、こども連れで、飲み物を楽しみながらゆっくり滞在できる場所が求められている。 ・施設利用の目的がなくても気軽に立ち寄り、人や情報との交流につながる場が求められている。	・心地よく滞在でき、飲み物を楽しみながら本や情報に触れられる。 ・施設利用者だけでなく、駅周辺を訪れる人も気軽に立ち寄ることができる。	【建築】 ・80 席程度の客席を設けること。 ・テイクアウトにも対応できるよう計画すること。 ・調理等による臭いが周囲に過度に拡散しないよう配慮すること。 ・耐汚染性や清掃の容易性に配慮した仕上材を採用すること。 ◇エリア内又は周辺に、本や情報端末を配置できるスペースを確保すること。 ◇施設の開館時間とカフェ・ショップの営業時間が異なる場合を想定し、適切に閉鎖できるよう計画すること。 【設備】 ・給排水・給湯設備を設けること。 ・厨房設備を設けること。	－
屋外オープンスペース （開閉は、提案に委ねる）	－ －	・駅周辺で気軽に待ち合わせできる場所が求められている。 ・施設内の活動が屋外やまちへ広がり、蒲郡駅周辺のにぎわいにつながる空間が求められている。	・施設利用の目的がなくても気軽に立ち寄れる、市民のサードプレイスとなる空間 ・天候や気候による利用制限をできるだけ抑え、年間を通じて利用しやすい空間 ・休憩、文化芸術活動、マルシェ等のイベントや、キッチンカー等の出店に利用できる。 ◇多目的ホールを他の用途に利用していないときは、同ホールと一体的なイベントに利用できる。	【建築】 ・原則として、要求水準書第 2 に示す施設要件の延べ面積には含めずに計画すること。 ・規模は事業者の提案によるものとする。 ・休憩、文化芸術活動、マルシェ等のイベント活動のほか、キッチンカー等の出店に対応できる空間とすること。	 出典：安満遺跡公園　ホームページ  出典：アオーレ長岡　ホームページ

（ウ）すくすく育みの場（こどもがのびのびと遊び、学べる。大人たちが見守りながら、みんなで未来を育む場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
プレイルーム 開	－	・天候や季節に左右されず、こどもが安全に体を動かしながら遊ぶことができる屋内の場が求められている。 ・年齢や発達段階に応じて、多様な遊びや体験ができる環境が求められている。	・３～12 歳のこどもたちが、遊びを通じて自然な学び、読書やものづくり等、学びにつながる体験を得られる。 ・こどもたちのにぎやかな声や活動を受け止め、親子が安心して利用できる場 ・年齢や発達段階に応じて、多様な遊びができる。	【建築】 ・参考面積　150 ㎡ ・遊びによる音や声が発生することを前提に、天井・壁等の吸音性・遮音性を確保するなど、周辺諸室との関係に配慮すること。 ・こどもの安全性に配慮すること。 ・保護者がこどもの様子を近くで見守れるよう計画すること。 ・こども用トイレを近接して配置すること。 ・屋外とつながる開放的な空間とすること。 ・遊びを通じて学びにつながる体験が得られる空間とすること。 ・建築と一体となった立体的な遊び場を設けること。 ◇大型遊具を設ける場合は、本施設の特性を踏まえ、遊びを通じてこどもの学びや成長につながるものとすること。なお、建築と一体的に整備する方法又は什器・備品として設置する方法のいずれも可とする。 【什器・備品】 ・こどもの発育を促す年齢・発達段階に適した玩具を備えること。 ・学びにつながる多様な遊び道具等を備えること。	 出典：丸亀市市民交流活動センター マルタス  出典：石川県立図書館
子育て支援センター 開 閉 （見える／隠せる）	－	・親子が気軽に立ち寄り、安心して過ごしたり、他の親子と交流したりできる場が求められている。 ・子育てに関する情報を得られ、必要な支援や子育ての悩みを気軽に相談できる環境が求められている。	・未就園児（おおむね３歳未満）とその保護者が、安全かつ安心して過ごせる。 ・こどもの成長や遊びを支えるとともに、保護者同士の交流につながる。	【建築】 ・参考面積　80 ㎡ ・親子 20 組程度の利用を想定すること。 ・クッションフロア等、こどもの安全性に配慮した床仕上げとすること。 ・入退室管理を行える計画とし、手続のない出入りや、こどもが一人でエリア外に出ることを防止できるようにすること。 ・入退室管理及び簡易な事務を行うカウンター、乳児・親子の遊び場、玩具や可動家具等の収納を設けること。集中して事務を行う際は、運営事務室の席を利用することを想定すること。 ・エリア出入口にベビーカーを置くことができるスペース、靴を脱ぎ履きできる場所と下足入れ（棚）を設けること。 ・イベント開催時等に、遊び場を仕切ったり開放したりできる可変性を確保すること。 ・子育て支援センターの業務終了後は、遊び場を平土間の貸室として利用できる計画とすること。 ・見通しを確保しつつ、必要に応じて視線を遮ることができる計画とすること。 ・授乳室を近接して配置すること。 【設備】 ・テレビ端子を設けること。 ・出入口のセキュリティを確保すること。 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
相談室 閉 （見えない）	－	・子育てに関する悩みや不安について、周囲を気にせず安心して相談できる環境が求められている。	・他の利用者の視線や会話の漏れを気にせず、こどもや子育てに関する相談ができる。 ・相談のない時間帯は、対面朗読など多用途に活用できる。 ・相談機能と、絵本や子育てに関する本等の利用が相互につながる場	【建築】 ・参考面積　10 ㎡ ・相談者のプライバシー及びセキュリティに配慮した配置とすること。 ・室内の会話が室外に漏れないよう、遮音性に配慮すること。 ・利用中であることを室外から確認できるようにすること。 ・絵本や子育てに関する本等を周辺に配架できるよう配慮すること。 ・業務終了後は、貸室として利用できる計画とすること。 【設備】 ・出入口付近に監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－
児童書架 開	－	・こどもが年齢や発達段階に応じて本を選び、読書や学習を楽しめる環境が求められている。 ・親子で安心して滞在し、本を介した交流や体験につながる場が求められている。	・こどもや親子が過ごしやすく、自然と本に触れ、滞在そのものが楽しい体験となる。 ・親子での読み聞かせや会話を通じて、親子のふれあいにつながる場 ・読書や学習等を長時間楽しめる、こどもに適した環境を備えた場	【建築】 ・参考面積　380 ㎡ ・開架で 37,500 冊収容できるようにすること。 ・60 席程度の閲覧席を設けること。 ・一部にこどものための学習スペースを設けること。その席数は、施設全体の閲覧席数に含めることを可とする。 ・さまざまな年齢のこどもが利用しやすいエリア構成を考慮すること。 ・ベビーカーを利用する親子が円滑に移動し、滞在できるよう配慮すること。 ・こども用トイレを近接して配置すること。 【什器・備品】 ・書架は、こども自身が本を手に取りやすい高さとし、保護者等による見守りにも配慮すること。 ・隠れ家的な場所や空間を活かした読書スペースを設けること。 ・閲覧席は、椅子と机の組合せに限らず、こどもが読書しやすい設えにより確保することを可とする。 ・読書や学習等を長時間楽しむことができる、こどもに適した家具を備えること。 ◇遊具と一体となった書架の配置を検討すること。	－
こどものへや 開 閉 （隠せる）	－	・本の貸借やワークショップ等に参加する際に利用できる託児が求められている。 ・施設利用とあわせて、こども向けの多様な活動に利用できる空間が求められている。	・おはなし会、読み聞かせ、親子の閲覧等に利用できる場 ・施設利用者のための託児サービスに利用できるものとする。 ・小規模な催しに活用できる。 ・預けたこどもの様子を外から見守ることができる。	【建築】 ・利用定員 10 名程度を想定すること。 ・こどもの安全性に配慮し、クッションフロア等の床仕上げとすること。 ・利用していないときは、子育て支援センターの一部として一体的に利用できるよう計画すること。 ・靴を脱いで利用する空間とすること。下足入れの設置又は脱いだ靴を置くスペースの確保は、提案に委ねる。 ・おはなし会、託児等に必要な備品を置けるスペースや収納棚等を設けること。 ・活動託児の場所として想定し、愛知県認可外保育施設指導監督基準に沿った必要な設備等を設けること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
授乳室・給湯室 閉（見えない又は隠せる）	－	・乳幼児を連れた利用者が、授乳、搾乳、調乳、おむつ交換等を安心して行える環境が求められている。	・こども・親子が安心して利用でき、授乳、搾乳、調乳及びおむつ交換等、多様な子育てニーズに対応できる。	【建築】 ・男女ともに利用できるエリアと、女性専用の授乳・搾乳エリアを適切に区分すること。 ・授乳エリアは、施錠ができるものとし、利用者のプライバシーを確保できる計画とすること。 ・授乳室に近接してベビーカーを置くことができるスペースを設けること。 【設備】 ・給排水設備を設けること。 【什器・備品】 ・流し台を設けること。 ・授乳椅子等はスペースの効率性よりも利用者の利便性に配慮して配置すること。	－
こども用検索端末機、自動貸出機等 開	－	－	－	【建築】 ・検索端末及び自動貸出機を、こどもが操作しやすい高さに設置できるよう計画すること。 ・利用者からの視認性が高く、利用しやすい場所に配置すること。	－

イ　みらいスタジオ　　「新たな知識・情報・経験に触れ、「知りたい」学び、「やってみたい」活動を深め、高めていく」

（ア）　じっくり集中する場（勉強、読書、仕事、調べもの、本探し…。ひとりでやりたいことにじっくり向き合う場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
個人学習スペース **開**	－	・現図書館は駅から離れていることに加え、学習・閲覧のための席の充実が求められている。 ・学校帰りや仕事帰り等、夜間まで利用できる学習の場が求められている。	・静かに集中して学習に取り組み、一人の時間を大切にできる空間 ・個室ではないが、周囲を気にせず利用することができる。	【建築】 ・62 席程度の学習席を設けること。 ・静かな環境で長時間の学習ができるよう、他の機能との位置関係及び音環境に配慮すること。	 出典：さいたま市立大宮図書館  出典：那須塩原市図書館 みるる　Instagram
グループ学習室 **閉**（隠せる）	集約可・非設置可（３室目）	・複数人で会話しながら学び、教え合いや共同作業ができる場が求められている。 ・学校帰りや仕事帰り等、夜間まで利用できる学習の場が求められている。	・複数人で会話しながら、学習や調べものができる場 ・小規模な会議、打合せ、テレワーク等にも柔軟に利用できる。	【建築】 ・６名程度を収容できる学習室を２～３室設けること。集約する場合も、独立して利用できる２室以上を確保すること。 ・利用人数や活動内容に応じて間仕切りを開放し、一体的に利用できる計画とすること。 【設備】 ・電気時計を設けること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
無数の本に 囲まれた場 **開**	－	・多くの本に触れながら、落ち着いて読書に集中できる環境が求められている。 ・利用者の興味や関心を広げ、これまで手に取らなかった本との出会いにつながる閲覧環境が求められている。	・集中して読書するなど、一人の時間を大切にできる空間 ・大量の資料に囲まれた環境の中で、本との出会いや新たなアイデア、ひらめきが生まれる。 ・密度のある書架の合間に閲覧席があり、読書に没入しながら長時間過ごせる。 ・室やスペースでの学びの活動と併用して新たな気づきや発見につながる。	【建築】 ・35,000 冊を収容できるようにすること。 ・20 席程度の閲覧席を設けること。 ・閲覧席は書架の合間に設けるなど、本に囲まれた環境の中で読書に没入できる空間を創出すること。 ・歩行音や椅子等の移動音を抑制し、読書環境に配慮した床仕上げとすること。 ・自然採光を取り入れる場合は、直射日光等による図書の劣化に配慮すること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 ◇読書環境に配慮した電気時計を設けること。	 参考写真：和歌山市民図書館　海外文学エリア  出典：文喫 栄
ワークスペース **閉** （見え方は提案）	－	・パソコン作業、テレワーク、オンライン会議等を落ち着いて行える環境が求められている。	・個々のブースに分かれ、集中して作業できる。 ・テレワーク、パソコン作業、オンライン会議等に対応し、長時間作業で利用できる。	【建築】 ・13 席程度の個人用ブースを設けること。 ・一部の席は、周囲からの視線を遮り、遮音性に配慮した個室感のあるブースとすること。 ・テレワーク、パソコン作業、オンライン会議に対応できる計画とすること。 【設備】 ・各ブースに電源を設けること。 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	 出典：茨木市市民活動センター　きゃぱす  出典：武蔵野プレイス
予約本コーナー **開**	－	・利用者が予約資料を円滑かつ気軽に受け取ることができる環境が求められている。	・利用者が自ら予約資料を取り出し、スムーズに受け取ることができる。	【建築】 ・2,000 冊を収容できるようにすること。 ・利用者が自ら予約した本を取り出すことができるよう、使いやすい書架や分かりやすい表示等に配慮すること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。	－

（イ）　わいわい学び語る場（共通の趣味の情報交換、ミーティングなど。本のある空間で、だれかと何かを語りあう場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
グループ学習スペース 開	－	・会話しながら学習や共同作業ができ、その活動が周囲にも感じられる開かれた学習環境が求められている。	・複数のグループが、それぞれに調べものやディスカッションを行える開かれた空間 ・気軽に立ち寄り、飲食しながら学習や打合せができる。 ・明るく活動的な雰囲気が周囲にも伝わる空間	【建築】 ・30 席程度の学習席を設けること。 ・グループの人数や活動内容に応じて、机を組み替えて利用できる計画とすること。 ・会話や作業による音が発生することを前提とした配置とすること。 【什器・備品】 ・複数人で囲める机や、用途に応じて組み替えられる家具を配置すること。	 出典：早稲田大学中央図書館　ホームページ https://www.waseda.jp/library/news/2020/02/10/8207/  出典：b-lab（文京区青少年プラザ）ホームページ
ミーティングスペース 開　閉 （見え方は提案）	集約可・非設置可（３室目）	・室内で行われるワークショップ等について、活動の様子が周囲にも伝わり、新たな参加や交流につながる環境が求められている。 ・こどもからシニアまで、多世代を対象とした講座やワークショップ等を行える場の充実が求められている。	・用途に応じて開いたり閉じたりしながら、打合せ、会議、ワークショップ等に利用できる。 ・活動の様子が適度に伝わり、新たな参加や交流につながる開かれた会議・活動ができる空間	【建築】 ・オープンな学習・会議スペースとして利用でき、可動間仕切りにより１室当たり 40 ㎡程度（15 席程度）の２～３室に分割できる計画とすること。集約する場合も、独立して利用できる２室以上を確保すること。 ・分割時に各室でマイクを使用せずに会議を行える音環境とすること。ただし、完全な遮音・防音を求めるものではない。 ・活動の様子が周囲に適度に伝わり、参画意欲につながる設え及び配置とすること。 【什器・備品】 ・活動の規模や用途に応じた多様な利用ができ、利用者の創造性を促す家具・備品を配置すること。	－
ティーンズ 開	－	・若い世代が興味を持つ本や情報に触れられる機会の充実が求められている。 ・読書や学習に限らず、友人との交流や新たな興味や活動につながる環境が求められている。	・図書館や本に用事がなくても、立ち寄りやすく、過ごしやすい。 ・若い世代が興味を持つテーマの本や漫画等に触れ、学びや交流につながる。	【建築】 ・1,700 冊を収容できるようにすること。 ・20 席程度の閲覧席を設けるとともに、周辺のスペースでも閲覧しやすい配置とすること。 ・中高生が気軽に立ち寄り、読書や学び、交流等をしながら過ごすことができる空間とすること。	－

（ウ）　わくわく発見・体験の場（興味のある講座に参加したり、講座を開いたり、「学びあい」から発見と体験がある場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
調理スペース 開 閉 （見える）	－	・気軽に利用でき、料理や食を通じた学びや交流につながる場が求められている。 ・食育活動、料理教室、チャレンジショップ等、多様な活動に利用できる調理環境が求められている。	・家庭科室や調理室のような複数の調理台を備えた部屋ではなく、開放感のある１台の貸しキッチン ・キッチンを囲み、利用者同士のコミュニケーションが生まれる。 ・食育講座や料理教室、チャレンジショップ等、多様な活動に利用できる。 ・調理したものを共用部や近接するスペースで楽しめる。	【建築】 ・短期間の飲食店営業（チャレンジショップ）ができるよう、必要な要件を満たすこと。 ・食材の臭いが周囲に過度に拡散しないよう配慮すること。 ・共用部や近接する諸室・スペースを活用して、調理したものを飲食できる計画とすること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。 ・給排水設備を設けること。 ・厨房設備を設けること。	 出典：延岡市駅前複合施設 エンクロス　ホームページ  出典：桜川市生涯学習センター さくらす ホームページ
視聴覚資料 開	－	・CD・DVD 等の視聴覚資料を、図書資料とあわせて気軽に選び利用できる環境が求められている。	・CD・DVD 等の視聴覚資料を選び、借りられる。 ・視聴は専用スペースに限定せず、他の諸室・スペースを活用できる。	【建築】 ・2,800 点の視聴覚資料が収容できるようにすること。 ・利用者が資料を選びやすいよう、ジャンルや媒体別に分かりやすく配架できる計画とすること。 ・専用の視聴ブースは設けず、視聴機器の貸出や映像機器のある諸室・スペースの利用により視聴できる計画とすること。	－
地域資料 閉（一部開くことを提案可とする）	－	・蒲郡の歴史、文化、産業等について、資料や展示等を通じて気軽に学ぶことができる機会の充実が求められている。 ・こどもをはじめ、幅広い世代が地域の歴史や文化に触れ、理解や関心を深め、蒲郡への愛着につながる場が求められている。	・蒲郡の郷土資料を閲覧し、地域の歴史や文化への理解を深められる。 ・郷土資料の保存・継承という役割に加え、資料を実際に手に取り、地域への関心や学びを深められる。 ・資料の保存・継承と、手に取りやすさの両立を重視する。	【建築】 ・４席程度の閲覧席を設けること。 ・郷土資料 2,000 冊を収容できるようにすること。 ・資料の特性及び公開方法に応じ、個々の資料又は室のセキュリティを確保できる計画とすること。 【設備】 ・出入口に必要なセキュリティ設備を設けること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
練習室 （バンド向け） **閉**（隠せる）	－	・こども・若者をはじめ、市民が音楽、演劇、ダンス等の表現活動に気軽に取り組める場が求められている。 ・中高生等が部活動に限らず、日常的に練習や活動に取り組める環境が求められている。 ・日頃の練習や活動の成果を、発表や発信につなげることができる環境が求められている。	・バンド、ダンス等の練習が行える。 ・練習の成果や活動の様子を、動画配信や撮影等を通じて施設内外へ発信できる。	【建築】 ・参考面積　15 ㎡ ・遮音・防音性能を持たせること。閉じて利用する際には静かさを評価する指標として NC-25 程度を確保する。 ・楽器演奏による振動を考慮して、防振性能を持たせること。 ・着替え等の際に、室外からの視線を遮ることができる設えとすること。 【設備】 ・出入口付近に監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。 【什器・備品】 ・バンドセットを常設すること。詳細は「別紙４　諸室に設置する備品等リスト」を参照すること。	－
練習室（個人向け） **閉**（隠せる）	－			【建築】 ・参考面積　10 ㎡ ・遮音・防音性能を持たせること。閉じて利用する際には静かさを評価する指標として NC-25 程度を確保する。 ・１～２人での楽器演奏、歌唱等の練習に対応できる室とすること。 ・着替え等の際に、室外からの視線を遮ることができる設えとすること。 【設備】 ・出入口付近に監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－
練習室 （演劇、バレエ、ダンス向け） **閉**（隠せる）	集約可 ・ 非設置可			【建築】 ・参考面積　55 ㎡ ・ダンス等による足への負担に配慮し、フローリング等の床仕上げとすること。 ・遮音・防音性能を持たせること。閉じて利用する際には静かさを評価する指標として NC-25 程度を確保する。 ・１面の壁を鏡張りとし、カーテンをつけて隠せるようにすること。 ・バレエバーは、可搬式又は固定式とし、その方式は提案に委ねる。 ・裸足又は室内用シューズ等で利用する空間とし、外履きでの利用を想定しない計画とすること。 ・着替え等の際に、室外からの視線を遮ることができる設えとすること。 【設備】 ・出入口付近に監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	 出典：穂の国とよはし芸術劇場プラット ホームページ  出典：ふじみ野文化施設ステラ・ウェスト ホームページ

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
会議室兼 多目的ホール楽屋 **閉**（隠せる）	－	・市民や学校等による発表会や催しを支えるため、出演者等が準備、待機、着替え等を行える環境が求められている。 ・ホール利用がないときにも、会議や打合せ等に活用できる、柔軟な利用が可能な空間が求められている。	・多目的ホールの本番利用時に、一般来館者と区分した動線、セキュリティ及びトイレを確保し、楽屋として利用できる。 ・多目的ホールの利用がないときや、練習等で楽屋を必要としないときは、会議室として単独利用できる。	【建築】 ・20 ㎡程度の会議室兼楽屋を２室設けること。 ・化粧前の鏡は可搬式又は固定式とし、固定式の場合は隠せる設えとすること。方式は提案に委ねる。 ・多目的ホールに近接して配置し、楽屋利用時は一般来館者の動線と区分できるようにすること。 ・楽屋利用時に、一般来館者と共用せずに利用できる楽屋トイレを設けること。 ・楽屋備品・会議備品を収納する備品庫を設けること。 ・着替え等の際に、室外からの視線を遮ることができる設えとすること。 【設備】※舞台設備以外 ・テレビ端子を設けること。 ・出入口等に、エリア監視用の監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－
多目的ホール **開** **閉** （見えるかどうかは提案／隠せる）		別紙３　ホールの要求水準を参照すること。		－	－

ウ　みらいステージ　　「学び、活動したことを発言や表現によって人に伝え、学びが循環し、一人ひとりがかがやく」

（ア）　じわじわ発信の場（好きなこと、今ハマっていること、面白いと思ったことなどを自由に発信できる場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約 可・非 設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
企画展示ギャラリー 開　閉 （隠せる）	－	・市民の創作活動や生涯学習の成果を、気軽に展示・発表できる場が求められている。 ・絵画、書道、工芸、写真、こどもの作品等、多様な作品や表現に触れる機会の充実が求められている。 ・展示や企画を通じて、市民の活動や地域の魅力を広く発信し、新たな関心や参加につながる環境が求められている。	・本施設での活動や企画等の成果を発表・発信できる。 ・図書館の企画展示ができる。 ・生命の海科学館、博物館への関心を促すための出張企画展が行える。 ・平面・立体展示に加え、映像・音響等を活用したインスタレーションなど、多様な表現に対応できる。	【建築】 ・参考面積　150 ㎡ ・壁面展示、映像展示の双方に対応できる壁仕上げとすること。 ・可動の展示壁を設けること。 ・壁面展示に対応するピクチャーレールを適切に設けること。 【設備】 ・ライティングダクトを適切に設け、照明は調光・調色できるものとすること。 ・多様な展示及び持込機材に対応できる電源容量を確保すること。 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。 ・音響・映像設備を備えるとともに、持込機材に対応できる電源等を設けること。	 出典：軽井沢ニューアートミュージアム　ホームページ  出典：札幌文化芸術交流センターSCARTS

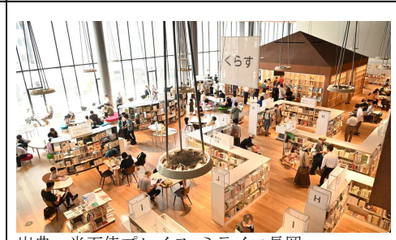
（イ）　ガチャガチャものづくりの場（ちょっとした工作からデジタル工作まで、つくりたいものをだれかと一緒に作れる場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約 可・非 設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
アトリエ 開	－	・こどもから大人まで、ものづくりや創作活動を気軽に体験し、取り組むことができる場が求められている。 ・新しい技術や道具に触れ、創作への興味や関心を広げることができる環境が求められている。 ・ものづくりの過程や成果を共有し、新たな学びや交流につながる場が求められている。	・デジタル、アナログのものづくりを体験し、過程や成果を共有、可視化する場として機能する。 ・ものづくりに加え、会議や交流、居場所として柔軟に利用できるものとする。 ・作業のにぎわいが共用部ににじみ出る配置とする。 ・職員やサポートスタッフが活動を見守り、利用者の挑戦を支えられる。 ・気軽に利用ができるオープン空間として、学校帰りの高校生などの憩いの場となる。	【建築】 ・参考面積　150 ㎡ ・汚れに強く、清掃しやすい床仕上げ及び家具とすること。 ・水場を設置すること。 ・器具、機材及び材料等が見え、創作意欲につながる配置とすること。 ・簡易かつ小規模な展示ができるコーナー又は棚等を設けること。 ・作業机やスツールを動かし、活動に応じて配置を変更できる計画とすること。 【設備】 ・水場に必要な給排水設備を設けること。 ・監視カメラを設けること。 【什器・備品】 ・作業机は、活動内容に応じて組み替え可能なものとすること。 ◇スツールは多様な使い方に対応するものとし、開館前又は開館後に利用者とともに製作するなど、既製品によらない提案も可とする。	 出典：VIVISTOP NITOBE  出典：門真市立文化創造図書館 KADOMADO　ホームページ

（ウ）　キラキラパフォーマンスの場（芸術を鑑賞する、日ごろの成果を発表する等、生のパフォーマンスで感性を育む場）

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築）	要求水準 （設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
メインホール 開　閉 （見えるかどうかは提案／隠せる）	－	別紙３　ホールの要求水準を参照すること。				

エ　施設全体に配置される機能の要求水準

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
一般開架 開	－	・ゆとりある書架間隔や分かりやすい配置など、誰もが本を探しやすく、手に取りやすく、安心して利用できる閲覧環境が求められている。 ・飲食や会話を含め、読書や休憩など多様な過ごし方ができる図書館が求められている。 ・施設内のさまざまな活動や過ごし方と本がつながり、新たな本や情報との出会いが生まれる環境が求められている。	・探しやすさに配慮しつつ、施設の各所で本に自然と出会える。 ・テーマ配架や見せ方を工夫し、利用者の行動や関心に沿って、本と出会えるようにする。 ・本をきっかけに人とのつながりや新たな学び・交流が生まれる場	【建築】 ・50,000 冊を収容できるようにすること。 ・80 席程度の閲覧席を設けること。 ・共用部や他の諸室・スペースと緩やかにつながる配置とすること。 ・表紙を見せる配架等にも対応し、本が自然と目に入る計画とすること。 ・自然採光を効果的に取り入れ、快適な読書環境を確保すること。 ・直射日光等による図書の劣化に配慮した計画とすること。 【什器・備品】 ・利用者が本を手に取りやすく、テーマ配架等にも対応できる書架を設けること。 ・利用者が自分に合った居場所を選択できるよう、多様な種類の閲覧椅子を設けること。	 出典：米百俵プレイス　ミライエ長岡  写真提供：小千谷市
レファレンスコーナー 開	－	・現図書館が培ってきたレファレンスサービスの強みを継承し、市民の調べものや学びをより深く支えることが求められている。 ・利用者が気軽に相談でき、一人ひとりの興味や関心に応じて、必要な資料や情報につながることができる環境が求められている。	・調べものや課題について、気軽に相談でき、落ち着いて話せる場	【建築】 ・声をかけやすく、相談者のプライバシーにも配慮した配置及び設えとすること。 ・資料や端末にアクセスしやすい位置に配置すること。 ・レファレンスサービスの提供に適した位置に設けること。総合案内等と同一の場所に設けるかどうかは、提案に委ねる。 【設備】 ・有線 LAN を設けること。 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－
総合案内・ 相談カウンター 開	－	・初めて訪れる人を含め、誰もが施設の利用方法やサービスについて気軽に案内・相談を受けられる環境が求められている。 ・来館者と施設内のさまざまなヒト・モノ・コトをつなぎ、新たな利用や参加のきっかけとなる場所が求められている。 ・来館者の相談内容や目的に応じて、図書館、子育て支援、生涯学習等の各機能や適切な相談先へつながる窓口が求められている。	・施設利用に関する案内や相談に幅広く応じ、本施設との接点となる。 ・問合せ内容によって、レファレンスコーナーや相談室等へ誘導する。	【建築】 ・来館者が気軽に声をかけやすい開かれた空間とすること。 ・来館者の動線上の分かりやすい位置に設け、職員が案内や対応を行いやすい配置とすること。 ◇運営事務室との連携及び省人化に配慮した配置とすること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。	－
検索端末台、自動貸出機、返却ポスト 開	－	－	・利用者が自ら資料を検索・貸出・返却できる。	【建築】 ・来館者動線上の分かりやすく利用しやすい位置に、検索端末、自動貸出機、返却ポストを設けること。 ・利用者が検索、貸出、返却等のために滞留した場合においても、他の来館者の通行を妨げないよう配置すること。	－

オ　管理エリアの要求水準

（ア）　全体

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
運営事務室 **閉**（一部又は全体が見える）	－	－	・運営事業者（子育て支援センターを含む。）の管理運営の拠点となる執務空間	【建築】 ・事業者が提案する職員数及び業務内容に応じた規模とすること。 ・直営事務室との隣接は必須としないが、相互に業務連携しやすい配置とすること。 ・個人情報、現金等を適切に管理できる環境を確保すること。 【設備】 ・インターホン親機を設けること。 ・公衆無線 LAN 及び有線 LAN を利用できるようにすること。 ・照明及び電源は、保安回路 100％とすること。 ・電気時計を設けること。 ・テレビ端子を設けること。 【什器・備品】 ・個人情報等を適切に保管・管理できる、施錠可能な収納等を備えること。	－
運営用会議室 **閉**（見えるかどうかは提案／隠せる）	－	－	・職員の休憩、打合せ、作業、急病人対応等に利用する。	【建築】 ・参考面積　60 ㎡ ・職員の休憩、打合せ、作業、急病人への対応等に利用できる室とすること。 ・運営事務室と一体又は別室とすることを可とする。一体とする場合は、外部の利用者が執務空間を通らずに出入りできる動線とすること。 ◇運営事業者の職員及び市職員が共用できる給湯室を設けること。運営用会議室と一体又は別室とすることを可とする。 【設備】 ・公衆無線 LAN 及び有線 LAN を利用できるようにすること。 ・電気時計を設けること。 ◇給湯室を設ける場合は、必要な給排水・給湯設備を整備すること。 【什器・備品】 ◇給湯室を設ける場合は、ミニキッチンを設けること。	－
直営事務室 **閉**（一部見える）	－	－	・本施設に関わる市職員の執務空間	【建築】 ・生涯学習機能を担う所管課等の執務スペース（15～16 名対応）として計画すること。 ・室内に文化協会の執務スペース（４～５名対応）を設けること。 ・運営事務室とは別室とし、相互に業務連携しやすい配置とすること。 ・個人情報の管理に適した環境又は備品を設けること。 【設備】 ・公衆無線 LAN 及び有線 LAN を利用できるようにすること。 ・照明及び電源は、保安回路 100％とすること。 ・電気時計を設けること。 ・監視カメラを設けること。 【什器・備品】 ◇室内に更衣ロッカーを設けること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
生涯学習用 準備室・倉庫 **閉**（見えない）	－	－	・生涯学習機能に必要な備品等の収納・準備ができる。	【建築】 ・参考面積　30 ㎡ ・生涯学習機能のための備品等を収納し、準備を行う場所として計画すること。	－
共創用倉庫 **閉** （見えるかどうかは提案）	－	－	・多用途に使うための備品を諸室・スペースや共用部等に残置せず、まとめて収納しておく。	【建築】 ・参考面積　100 ㎡ ・諸室・スペースや共用部での活動に用いる備品、器具等を収納する倉庫を設けること。 ・複数箇所に分散して配置することを可とする。 ・諸室・スペースへの運搬に配慮した配置とすること。	－
防災倉庫 **閉**（見えない）	－	－	・災害時に必要な備蓄品を保管する。	【建築】 ・敷地内に設けるものとし、本施設と別棟での整備も可とする。 ・500 名程度が 3 日間滞在するための食料等を収納できる規模とすること。 ・備蓄品は市が別途調達する。	－
設備管理室 **閉**（見えない）	集約可	－	・設備の管理・運転、安全管理等を行う職員の執務空間	【建築】 ・設備の管理・運転、安全管理等を行う設備管理室を設けること。 ◇事業者が提案する管理運営体制に応じ、運営事務室等との集約を可とする。 【設備】 ・有線 LAN を利用できるようにすること。 ・照明及び電源は、保安回路 100%とすること。 ・電気時計を設けること。 ・テレビ端子を設けること。	－
職員更衣室 **閉**（見えない）	－	－	・運営事業者職員の更衣・ロッカー	【建築】 ・運営事業者のための更衣・ロッカー室を男女別に設けること。	－
清掃員控室 **閉**（見えない）	－	－	・日常清掃を行う清掃員が待機する場	【建築】 ・清掃員の待機に必要な規模を確保すること。 【設備】 ・照明及び電源は、保安回路 100%とすること。	－

（イ）　図書館機能

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
作業室・ バックスペース 閉（見えない）	集約可	－	・図書館運営に必要な作業を行う場	【建築】 ・資料の搬出入に伴う作業が行いやすい位置に配置すること。 ・資料の受入、整理、装備、修理等、図書館業務に必要な作業ができる場を設けること。	－
閉架書庫 閉（見えない）	－	－	・開架資料を補完し、資料を適切に保存する。	【建築】 ・集密書架により 126,200 冊を収容できるようにすること。 ・作業室・バックスペース及び運営事務室と連携しやすい配置とすること。	－
図書館車庫 閉（見えない）	－	－	・図書館車両及び資料の搬出入に利用する。	【建築】 ・図書館車両を２台程度駐車できるスペースとすること。 ・雨天時も資料を濡らさずに搬出入できる計画とすること。 ・作業室・バックスペース及び閉架書庫への搬出入動線に配慮すること。	－
図書館倉庫 閉（見えない）	－	－	・図書館事業に必要な備品等を収納する。	【建築】 ・図書館事業に必要な備品、消耗品、展示用品、イベント用品等を収納する倉庫を設けること。	－

（ウ）　ホール機能

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
搬入ヤード 閉（見えない）	集約可 ・ 非設置可（多目的ホール専用）	－	・ホールへの安全かつ効率的な搬出入を行う。	【建築】 ・搬入ヤードは、メインホール及び多目的ホールにそれぞれ設けることを基本とする。ただし、両ホールへの円滑な搬出入を確保できる場合は、共通の搬入ヤードに集約し、多目的ホール専用の搬入ヤードを設けないことを可とする。 ・搬入ヤードは、各ホールの舞台及び舞台関係倉庫へ、できる限り直線的かつ短い動線で搬出入できる位置に設けること。 ・メインホールに対応する搬入ヤードは、４ｔ車及び４ｔロング車を収容し、シャッターを閉めた状態で屋内での搬出入作業ができるものとする。また、ウイング車への対応も考慮すること。 ・メインホールへの搬出入プラットホームの前に、11t ウイングルーフトラックが駐車し、荷下ろし・荷積みができるスペースを確保すること。当該車両は搬入ヤード内に収容することを要しないものとし、搬入車の待機スペースについても考慮すること。 ・多目的ホール専用の搬入ヤードを設ける場合は、利用形態を踏まえ、シャッターを閉めた状態での屋内搬出入にも配慮し、円滑な搬出入ができる計画とすること。 ・荷下ろし・荷積みがしやすいプラットホームを設けること。 ・プラットホームから舞台までは、段差なく搬入できる計画を基本とする。搬出入口と舞台が別の階となる場合は、要求水準書に定める搬入用エレベーターを設置し、円滑な搬出入を確保すること。 ・一方のホールの利用中にも、他方のホールへの搬出入に支障が生じないよう、動線及び搬出入作業に伴う音・振動等に配慮すること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。 ・電気時計を設けること。 ・メインホールに対応する搬入ヤードには、給排水設備及び地流しを設けること。	－
舞台備品庫 閉（見えない）	－	－	・メインホール・多目的ホールの舞台備品を収納する。	【建築】 ・参考面積　200 ㎡ ・両ホールの舞台備品（大道具、什器、音楽備品等）を収納する倉庫を設けること。 ・両ホール共通の備品庫とすることを可とする。いずれの場合も、各舞台へできる限り段差なく、短い動線で搬出入できるよう配慮すること。	－
ピアノ庫 閉（見えるかどうかは提案）	－	－	・ホールで使用するピアノ等を適切に保管する。	【建築】 ・フルコンサートグランドピアノ１台、セミコンサートグランドピアノ１台、ピアノ運搬車及びピアノリフター等を収納できる規模とすること。 ・温湿度管理ができるようにすること。 ・両ホールへ円滑にピアノを運搬できる位置に設けること。 ・出入口をシャッターのみとせず、地震等の際に庫内の人が退出できる計画とすること。	－

諸室・スペース名称 【特記事項】	集約可・非設置可	求められていること （背景・ニーズ）	基本的な考え方 （過ごし方、役割）	要求水準 （建築、設備、什器・備品）	空間イメージ （参考例）
貸出楽器庫 閉（見えるかどうかは提案）	－	－	・市内演奏団体等への貸出用楽器を保管する。	【建築】 ・参考面積　100 ㎡ ・市内演奏団体等への貸出用楽器を保管する楽器庫を、ピアノ庫とは別に設けること。 ・ホールの利用中も、楽器を出し入れできる位置に設けること。 ・温湿度管理ができるようにすること。 【設備】 ・監視カメラを設けること。	－
メインホール 技術諸室 閉（見えない）	－	－	・舞台照明、音響、映像等を操作・管理する。	【建築】 ・調光操作室、音響調整室、映写室を設けること。 ・フロントサイド室、シーリングライト室、フォロースポット室を設けること。 【設備】 ・内線を利用できるようにすること。 ・有線 LAN を利用できるようにすること。 ・電気時計を設けること。	－
多目的ホール 技術諸室 閉（見えない）	非設置可（専用室）	－	・舞台照明、音響、映像等を操作する。	【建築】 ・舞台照明、音響・映像等を操作するスペースを設けること。専用室を設けない場合は、可搬型の調整卓をホール内の複数の位置で接続・使用できる計画とすること。 【設備】 ・内線を利用できるようにすること。 ・有線 LAN を利用できるようにすること。 ・時刻を確認できる位置に電気時計を設けること。	－
舞台スタッフ 控室 閉（見えない）	－	－	・運営側及び利用者側の舞台スタッフが待機・準備する。	【建築】 ・運営側及び利用者側の舞台スタッフ控室をそれぞれ設けること。 ・運営側の舞台スタッフ控室は、事務作業に対応できる設えとすること。 【設備】 ・内線を利用できるようにすること。 ・公衆無線 LAN 及び有線 LAN を利用できるようにすること。 ・電気時計を設けること。	－